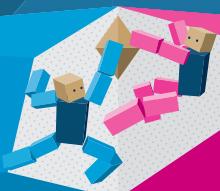




パリ 2024 五輪・銀メダリスト
安楽宙斗 選手

境界を超えて
挑戦する。

IFSC
NATIONS
GRAND FINALE



IFSC
PARA CLIMBING
MASTER

IFSC クライミング グランドファイナルズ福岡2025 2025 10.23-26

福岡県飯塚市・筑豊緑地公園／いづかスポーツ・リゾート ザ・リトリート

当日プログラム 10.25 DAY3

ボルダー大国・日本が世界の頂へ



「IFSC クライミンググランドファイナルズ福岡 2025」の大会 3 日目はパラクライミング予選、ボルダー決勝が行われます。午前のパラクライミングでは、カテゴリーもクラスも統合して全選手がセッションスタイルで登る予定です。午後のボルダー決勝は今年の W 杯で国別年間ランキング 11 年連続 1 位を決めた日本の優勝に期待が高まります。予選は 4 人全員が各課題を完登し、協力型ルールとなっても相変わらずの強さを発揮しました。昨日のリード決勝で 2 位に終わった借りを返せるのか、選手たちの一挙手一投足に注目です。

ルール紹介

ボルダー

用意される課題は、各ラウンドとも男子課題が 2 つ、女子課題が 2 つ、男女混合課題が 1 つの計 5 つ。各課題には 2 人が挑み、混合課題は男女 1 人ずつが登ります。2 人が完登すると最高 50 ポイント × 5 課題で各国の最大獲得ポイントは 250。相談や情報共有が可能な「協力型ルール」で進行する予定です。5 課題目の混合課題ではコーチが戦略的に出場選手を選びます。制限時間は各課題 5 分間で、課題の見極めや順番の駆け引きが勝敗を大きく左右する、新しいボルダーフォーマットです。予選上位 2 チームとエリミネーションヒート（敗者復活戦）上位 2 チームの計 4 チームが決勝を戦います。

基本ルール

- ・高さ 4 ～ 5m ほどの壁を登る。
- ・各課題にはゾーンと呼ばれるホールドが 1 つあり、ゾーン到達で 10 ポイントが、最後のトップホールドを両手でコントロールできれば「完登」で 25 ポイントが与えられる。
- ・各課題の制限時間は 5 分間。制限時間内であれば何度でもアテンプト（試技）できるが、ポイントを獲得した課題に限り、獲得までに失敗したアテンプト数 × 0.1 ポイントが減点される。

ボルダー決勝に向けて

日本代表 安井博志ヘッドコーチ

ミスができないというチーム内でのプレッシャーは違う意味で楽しかったですね。選手たちも楽しんでいる雰囲気に見えますが、ものすごく集中力が高いです。高いレベルの登りをチーム内で勝手に求められてしまっている感じがしていますが、その結果、選手はいいクライミングができています。日本チームが強いことは明確になっているので、それぞれのパフォーマンスをうまく引き出せるようにしたいと思います。戦略というよりも、チーム全員で全完登を目指します。

アメリカ代表コーチ

我われには選手が4人しかいないため、全員がリードにもボルダーにもチャレンジしないといけません。非常に疲れがたまってきていますが、明日のボルダー決勝はコンディションを注視しながらミックス課題にトライする選手を見極めたいと思います。もちろん表彰台に上がれたら素晴らしいことで、最高だと思います。難しいことですがそれに向けてチャレンジしていきたいですし、チャレンジするいい機会だと思います。

韓国代表コーチ

(優勝したリード決勝は)とても面白い展開でした。新しい挑戦であり、新しい競技フォーマットの中で、選手たちが最高のパフォーマンスを出してくれました。その結果金メダルを獲得できてうれしいです。ボルダーでも金メダルを目指します。日本チームが強いのはわかっていますが、韓国チームも最善を尽くす準備ができています。最高の登りを見せられるようにしたいと思います。

イスラエル代表コーチ

(予選のミックス課題について) オレンとマヤが自信を持っていたので、完登できると思い、「よし！やろう！」を決めて送り出しました。ボルダーは勝ちたいです！日本はとてもいいチームで強いことも十分理解しています。ですがイスラエルチームは表彰台を目標にしていますし、願わくは、少しでも可能性があれば2位になりたいと思います。でも日本チームは強いです。

スケジュール

	AM	PM
10.25 sat	開場 9:30 / 開始 10:00 パラクライミング予選	開場 14:00 / 開始 14:30 ボルダー決勝

出場選手リスト

	ボルダー決勝／Boulder Final	
	男子／Men	女子／Women
日本 JPN	安楽 宙斗 (50pt) Sorato Anraku 天笠 颯太 (74.8pt) Satone Yoshida	野中 生萌 (50pt) Miho Nonaka 中村 真緒 (74.9pt) Mao Nakamura
アメリカ USA	ヴェイル・エベレット (59.7pt ※) Vail Everett デクラン・オズグッド (49.7pt ※) Declan Osgood	ゾーイ・イー (34.9pt ※) Zoe Yi パロマ・スロウィック (44.9pt ※) Paloma Slowik
韓国 KOR	イ・ドヒョン (74.9pt) Dohyun Lee チョン・イエジュン (75pt ※) Yejun Chon	オ・ガヨン (44.9pt ※) Gayeong Oh ユン・イエジン (50pt ※) Yejin Jung
イスラエル ISR	オレン・プリヘド (74.8pt) Oren Prihed アディ・バーク (49.8pt) Adi Bark	アルマ・サピール・ハレビ (49.4pt) Alma Sapir Halevi マヤ・ドリーマー (59.9pt) Maya Dreamer

※ 選手名の右に予選 (※は敗者復活戦) の個人獲得ポイントを記載

IFSC PARA CLIMBING MASTER 出場選手リスト

	男子 / Men		女子 / Women	
B1	前岡 正人 Masahito Maeoka	日本 JPN	青木 宏美 Hiromi Aoki	日本 JPN
			栗屋 真実 Mami Kuriya	日本 JPN
B2	藤咲 淳一 Junichi Fujisaku	日本 JPN		
B3	黒澤 真吾 Shingo Kurosawa	日本 JPN	前岡 ミカ Mika Maeoka	日本 JPN
AL1	西崎 哲男 Tetsuo Nishizaki	日本 JPN		
	畠山 直久 Naohisa Hatakeyama	日本 JPN		
AL2	高畑 圭吾 Keigo Takahata	日本 JPN		
	結城 周平 Shuhei Yuki	日本 JPN		
RP1	岡田 卓也 Takuya Okada	日本 JPN		
RP3	山下 和彦 Kazuhiko Yamashita	日本 JPN	吉田 桃子 Momoko Yoshida	日本 JPN
	デヴァ・ラミレッディ Deva Ramireddy	アメリカ USA		
AU2	サンカディップ・マーナ Sankhadip Manna	インド IND		
AU3	アルドリック・ベトケ Aldrik Bethke	ドイツ GER		
	安良岡 伸浩 Nobuhiro Yasuraoka	日本 JPN		

会場マップ

